

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.58

(平成23年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県下 12 商工会議所合同で、地域の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび平成 23 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県下の景気動向を示す指標である「現状」の D I 値は、平成 18 年下期の $\Delta 37.9$ を境に、平成 21 年上期の $\Delta 73.3$ まで悪化していました。今回の調査結果では、前々期（ $\Delta 65.5$ ）、前期（ $\Delta 58.6$ ）に引き続き、今期は $\Delta 54.2$ と 4.4 ポイント改善しており四期連続の回復が見て取れます。しかしマイナス幅は依然高水準で推移しており、小規模事業者における厳しい経営環境が続いているのが窺えます。業種別の D I 値では、「現状」はほとんどの業種で改善が見られるものの、卸売業とサービス業では悪化となりました。「今後の見通し」でもほとんどの業種で改善が見られますが、卸売業と交通運輸業では悪化となりました。また、地区別の D I 値では、中勢地区と東紀州地区の「現状」で悪化が見られるものの、その他の地区では改善が見られました。東紀州地区では、「今後の見通し」も悪化しています。

今回の調査では「現状」の D I 値の回復状況について業種別に差が見られました。製造業の D I 値は $\Delta 50.4$ （前回 $\Delta 57.1$ ）で 6.7 ポイント回復しております。また、小売業は $\Delta 61.2$ （前回 $\Delta 63.4$ ）で 2.2 ポイント回復、建設業は $\Delta 50.4$ （前回 $\Delta 60.4$ ）で 10.0 ポイント回復、飲食業は $\Delta 63.4$ （前回 $\Delta 66.2$ ）で 2.8 ポイント回復、交通運輸業は $\Delta 48.0$ （前回 $\Delta 54.4$ ）で 6.4 ポイント回復しております。しかし一方で、卸売業は $\Delta 68.7$ （前回 $\Delta 64.3$ ）で 4.4 ポイント、サービス業は $\Delta 55.2$ （前回 $\Delta 53.5$ ）で 1.7 ポイントと悪化の値を示しており、業種によりばらつきがありました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目について、前期よりやや悪化の数値を示しています。具体的に「売上状況」の項目について小売業 $\Delta 61.0$ （前回 $\Delta 48.1$ ）で 12.9 ポイント、「利益状況」では、製造業 $\Delta 39.6$ （前回 $\Delta 34.3$ ）で 5.3 ポイント悪化が見られます。地区別では伊賀地区以外で悪化しています。震災の影響で、まだ先行きに不安感があり、「売上状況」の見通しでは、やや悪化しています。

また、景気の現状を計る一つの項目でもある設備投資については、「予定している」と回答した割合は、全体で 9.4%と前期 10.1%と比較して 0.7 ポイント減少しました。業種別では、交通運輸業が 18.0%と他の業種より高く、小売業が 5.9%と他の業種よりも低い割合となっています。地区別では、中勢地区が「予定している」とした割合が 12.7%で最も高くなっています。

借入の状況（難易度）の D I 値については、全体では今期 $\Delta 3.8$ 、前期 $\Delta 7.3$ と改善し、地区別では南勢地区以外で改善が見られました。

「現状」D I 値は改善しましたが、その他の数値で悪化している部分があることから、前期までは景気の底を脱し緩やかな回復に向かっていたと思われませんが、東日本大震災等の影響により景気回復は頭打ちされ鈍化していくだろうと予測されます。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。

平成 23 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県下商工会議所地域における景況	17
・ 調査票（写し）	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県下 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を
合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議
所地域ごとの景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔*1〕 県下商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下、製造・建設・その他の業種については
20 人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県下 12 会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,243 社を対象とした。回答状況は、回答率 28.3%、回答企業 2,616 社であった。

3. 調査方法

郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

平成 23 年 7 月 1 日～7 月 15 日

※当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、調査を実施している。

5. 集計方法

伊勢商工会議所情報センターにて、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の 4 商工会議所が担当した。なお、各商工会議所地域の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合があります。

業種別・地区別回答状況

単位：企業 () : % 上：業種別構成率 下：地区別構成率

地区 業種		北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野				
製造業	食料	76	46	12	14	4	15	4	11	10	4	6	9	2	7	21	17	4	131	
	せんい	16	2	12	2	0	3	2	1	0	0	0	6	6	0	1	1	0	26	
	機械	78	39	16	21	2	21	9	12	26	13	13	11	4	7	0	0	0	136	
	金属製品	78	41	14	21	2	11	5	6	12	8	4	5	2	3	6	6	0	112	
	木材	23	11	4	3	5	24	2	22	6	5	1	7	3	4	14	11	3	74	
	化学	7	3	1	2	1	2	2	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0	12	
	窯業	17	3	9	2	3	4	0	4	3	2	1	1	1	0	4	3	1	29	
	出	11	3	1	5	2	15	9	6	8	7	1	4	0	4	2	1	1	40	
	その他	75	32	12	24	7	19	6	13	17	9	8	10	1	9	9	8	1	130	
計	381 (28.9) (55.2)	180	81	94	26	114 (23.3) (16.5)	39	75	83 (23.5) (12.0)	49	34	55 (22.9) (8.0)	20	35	57 (26.5) (8.3)	47	10	690 (26.4) (100.0)		
製造業	卸売業	食料	15	7	6	2	0	5	3	2	6	5	1	3	0	3	7	7	0	36
		せんい	4	1	2	1	0	4	1	3	4	3	1	1	0	1	0	0	0	13
		その他	54	20	22	9	3	19	8	11	13	9	4	11	4	7	4	2	2	101
		(小計)	73	28	30	12	3	28	12	16	23	17	6	15	4	11	11	9	2	150
	小売業	せんい	37	12	14	9	2	18	6	12	10	6	4	7	3	4	13	9	4	85
		食料	44	19	5	15	5	21	7	14	13	6	7	11	4	7	15	9	6	104
		日用品	10	7	2	1	0	5	2	3	2	2	0	8	8	0	5	4	1	30
		電気製品	15	5	2	7	1	8	0	8	5	5	0	5	2	3	6	4	2	39
		その他	100	39	23	24	14	45	12	33	36	19	17	13	3	10	21	13	8	215
	(小計)	206	82	46	56	22	97	27	70	66	38	28	44	20	24	60	39	21	473	
	サービス業	美容・理容	26	6	10	8	2	9	3	6	3	2	1	5	1	4	8	6	2	51
		ホテル旅館	4	1	0	3	0	3	1	2	21	2	19	2	0	2	5	2	3	35
		自動車整備	37	14	7	12	4	18	5	13	14	13	1	9	2	7	9	4	5	87
		不動産	42	18	17	4	3	13	8	5	4	3	1	10	0	10	1	1	0	70
		その他	74	26	24	17	7	39	20	19	33	28	5	16	4	12	5	2	3	167
	(小計)	183	65	58	44	16	82	37	45	75	48	27	42	7	35	28	15	13	410	
	建設業	土木工事	81	19	27	30	5	14	8	6	6	3	3	12	5	7	8	7	1	121
		建築工事	123	36	32	51	4	39	17	22	20	15	5	20	5	15	12	10	2	214
		その他	137	29	57	41	10	46	29	17	18	13	5	15	3	12	5	3	2	221
		(小計)	341	84	116	122	19	99	54	45	44	31	13	47	13	34	25	20	5	556
	飲食業	50	13	14	20	3	31	7	24	29	16	13	14	7	7	18	16	2	142	
交通運輸業	21	5	5	3	8	15	3	12	3	2	1	5	1	4	6	6	0	50		
計	874 (66.3) (49.1)	277	269	257	71	352 (72.0) (19.8)	140	212	240 (68.0) (13.5)	152	88	167 (69.6) (9.4)	52	115	148 (68.8) (8.3)	105	43	1,781 (68.1) (100.1)		
その他	64 (4.9) (44.1)	24	9	21	10	23 (4.7) (15.9)	21	2	30 (8.5) (20.7)	14	16	18 (7.5) (12.4)	2	16	10 (4.7) (6.9)	10	0	145 (5.5) (100.1)		
合計	1,319 (100.0) (50.4)	481	359	372	107	489 (100.0) (18.7)	200	289	353 (100.0) (13.5)	215	138	240 (100.0) (9.2)	74	166	215 (100.0) (8.2)	162	53	2,616 (100.0) (100.1)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状 (図-1・2・3参照)

全回答企業 2,616 事業所中、「いい・ややいい」が 9.9%、「変わらない」が 25.6%、「悪い・やや悪い」が 64.1%で、D I 値は△54.2 (前回△58.6) となり前回より 4.4 ポイント改善している。

業種別のD I 値では、卸売業△68.7、飲食業△63.4、小売業△61.2、サービス業△55.2、製造業△50.4、建設業△50.4、交通運輸業△48.0、その他△39.4のとなっている。

地区別のD I 値では、北勢地区△51.0、中勢地区△57.0、南勢地区△61.7、伊賀地区△46.3、東紀州地区△63.7であった。

図-1 現状について (業種別)

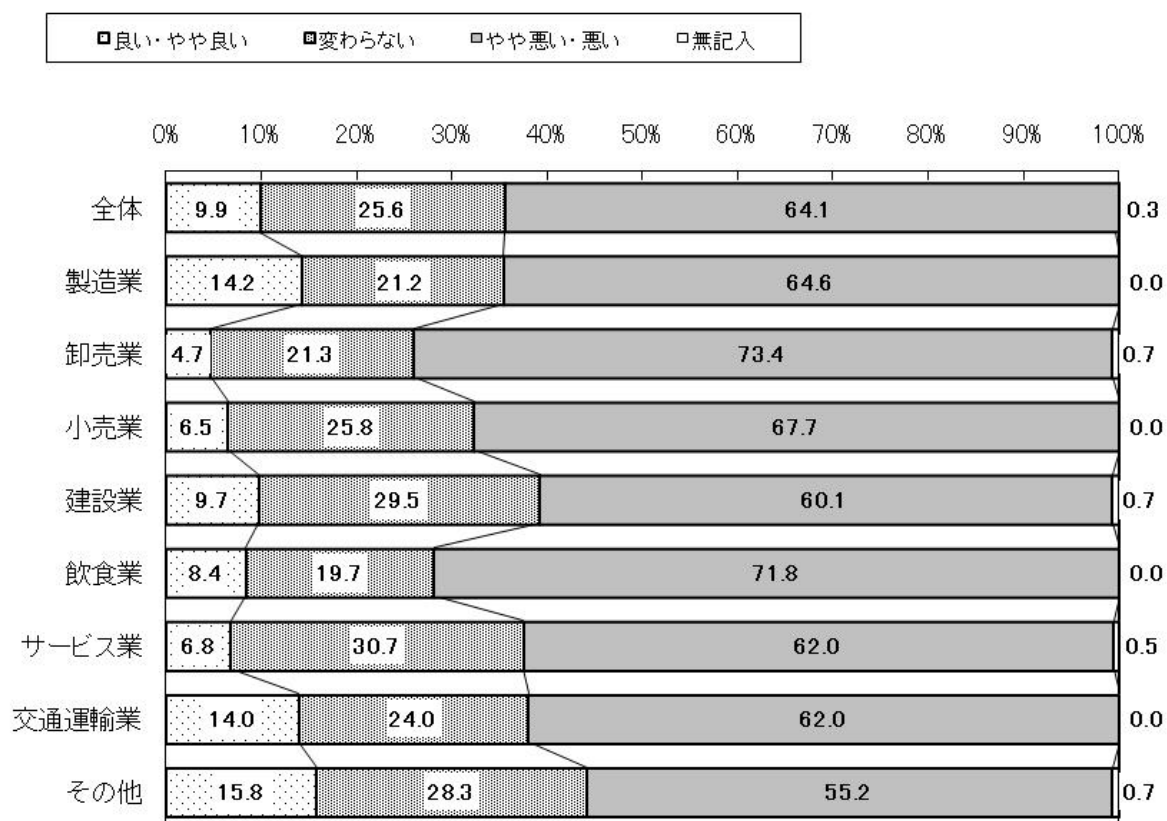


図-2 現状について（全体・地区別）

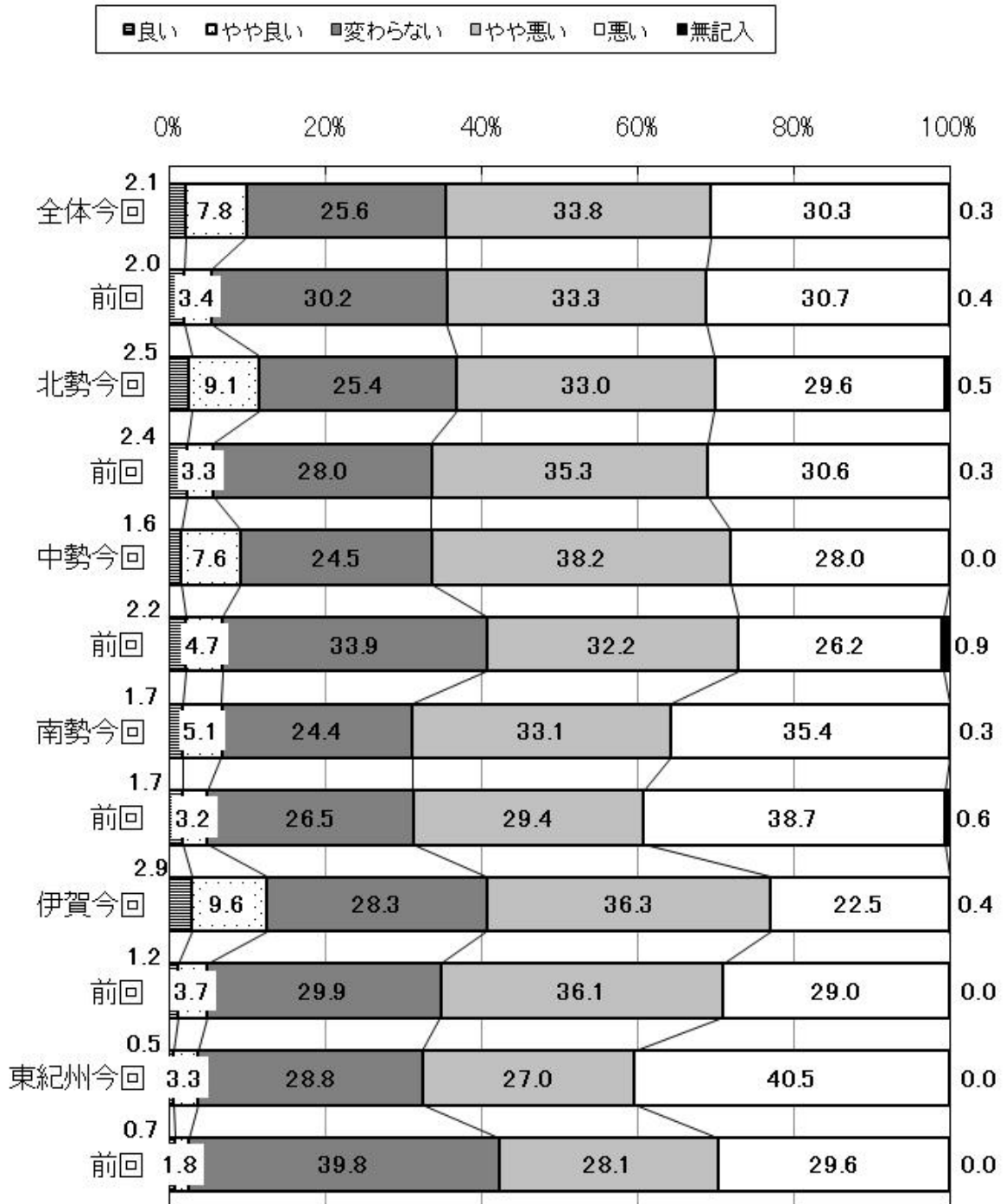
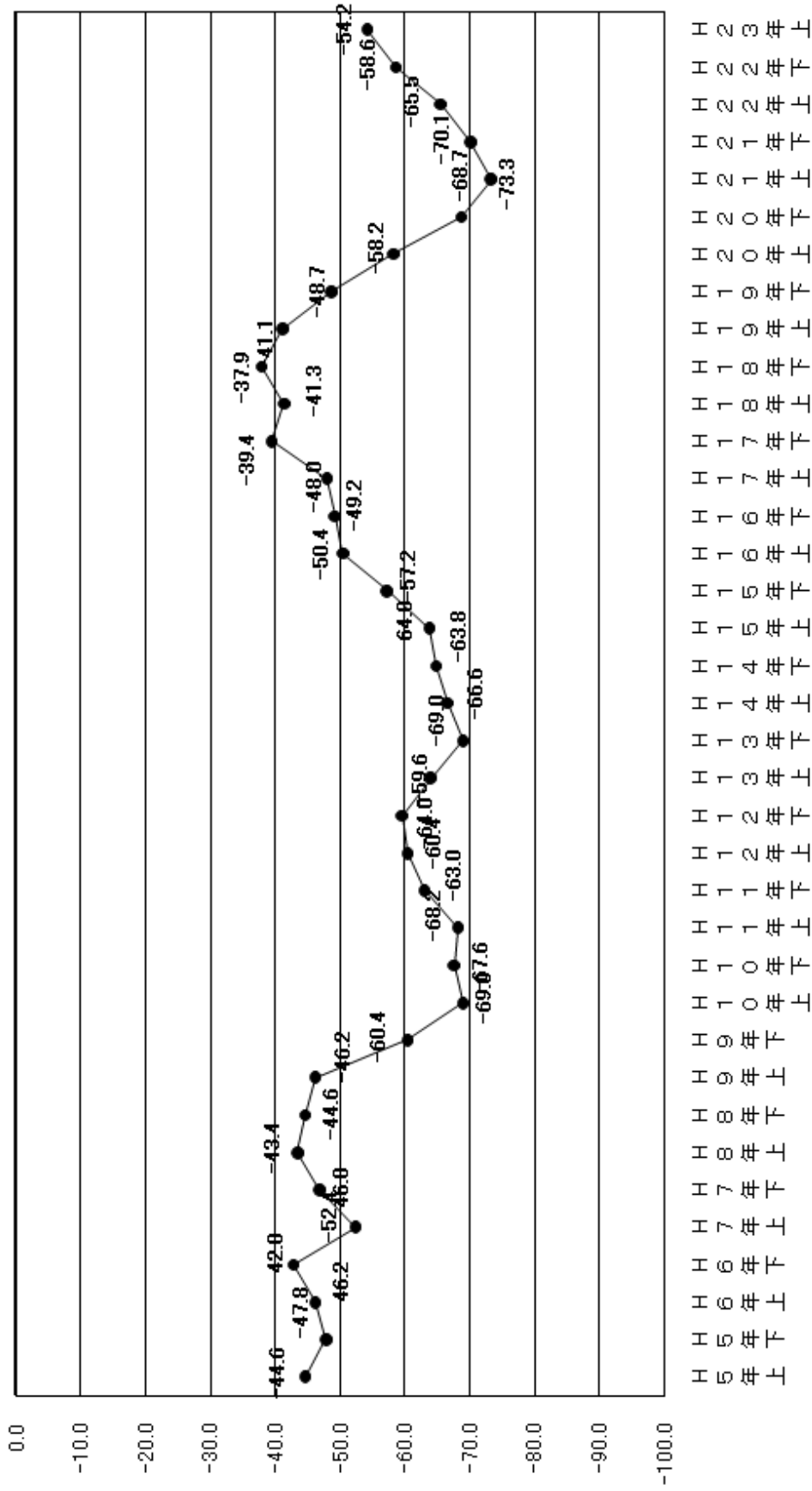


図-3 現況DI値の推移



) 1 下期分までの値は I 値を2 した数値で表示

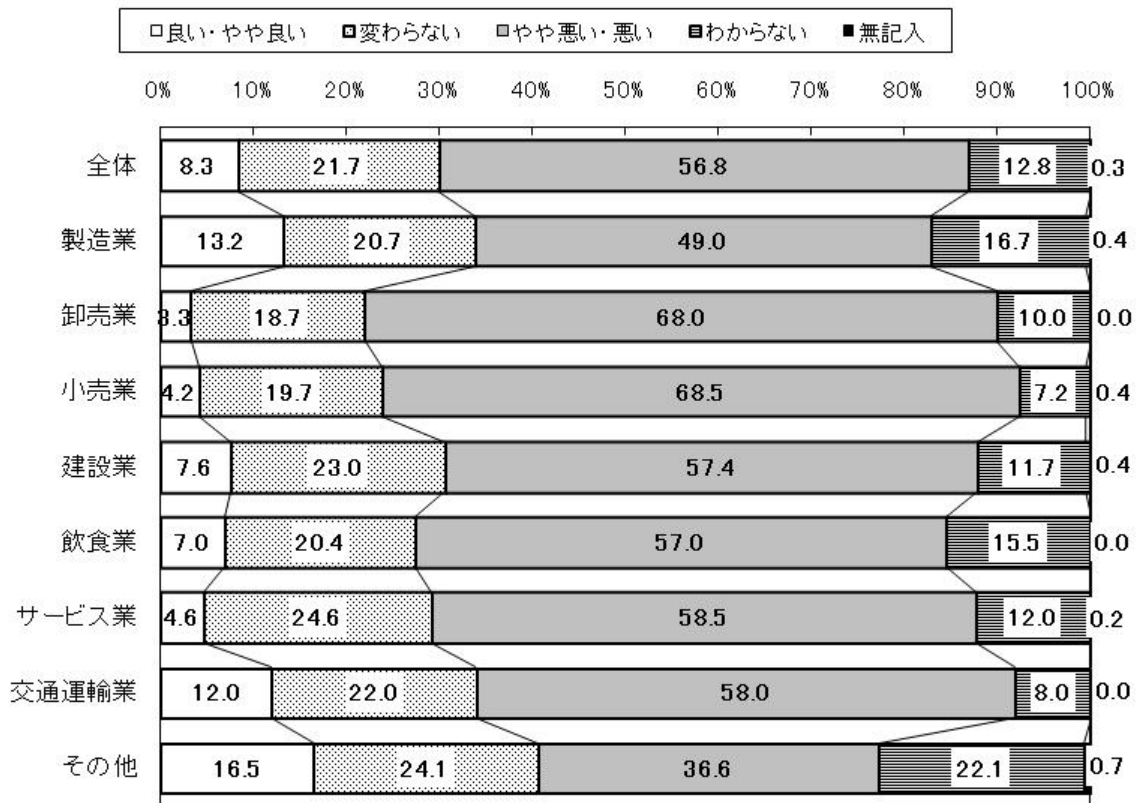
b) 見通し（図-4参照）

全体の見通しでは、「い・ややい」が8.3%に対し、「悪い・やや悪い」は56.8%で、D I 値も△48.5（前回△54.0）となり、5.5ポイント改善した。

業種別では、D I 値で卸売業△64.7、小売業△64.3、サービス業△53.9、飲食業△50.0、建設業△49.8、交通運輸業△46.0、製造業△35.8、その他の業種△20.1のであった。

地区別のD I 値では、北勢地区△45.7、中勢地区△49.5、南勢地区△52.3、伊賀地区△47.9、東紀州地区△58.6であった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）

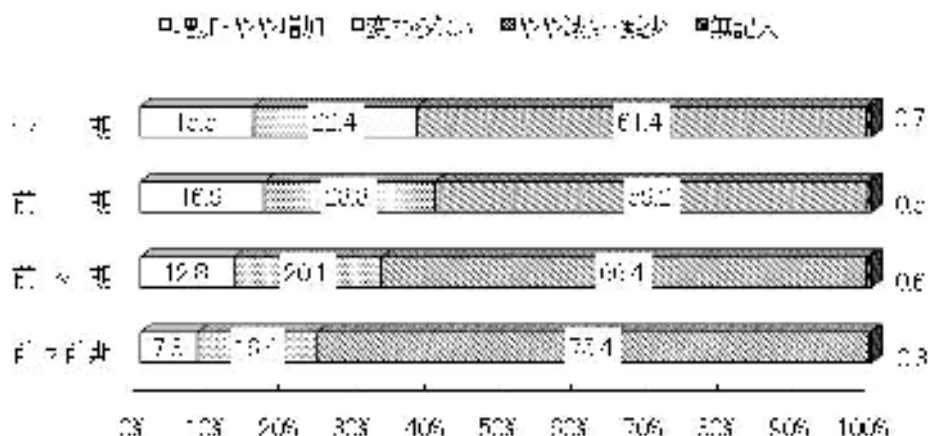


2. 最近の売上状況 (図-5 参照)

全体では、「増加・やや増加」が15.5% (前回16.9%)、「やや減少・減少」が61.4% (前回59.2%)で、D I 値は△45.9 (前回△42.3) となり、3.6ポイントの悪化となった。

業種別では、卸売業 (3.8ポイント)、建設業 (2.6ポイント)、交通運輸業 (3.8ポイント) で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に小売業では、△61.0(前回△48.1)と12.9ポイント悪化している。地区別では、伊賀地区の△35.5 (前回△42.7) 7.2ポイント改善となったが、それ以外の地区では悪化している。

図-5 売上状況

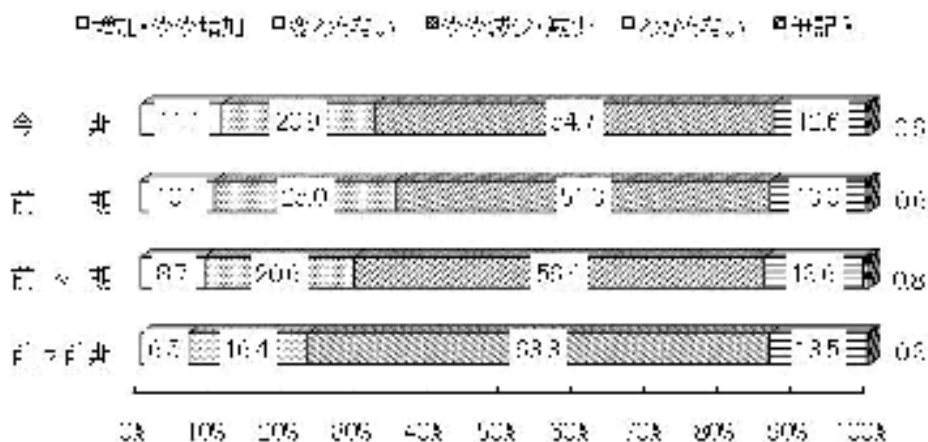


3. 今後の売上見通し (図-6 参照)

全体では、「増加・やや増加」が11.1% (前回10.1%)、「やや減少・減少」が54.7% (前回51.3%)で、D I 値は△43.6 (前回△41.2) となり、2.4ポイントやや悪化の見通しとなった。

業種別では、飲食業 (2.1ポイント)、交通運輸業 (16.9ポイント) で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に卸売業では、△55.3(前回△43.6)と11.7ポイント悪化している。地区別では、すべての地区で悪化が見られ、特に東紀州地区で△53.5 (前回△44.8)と8.7ポイントの悪化となった。

図-6 売上見通し



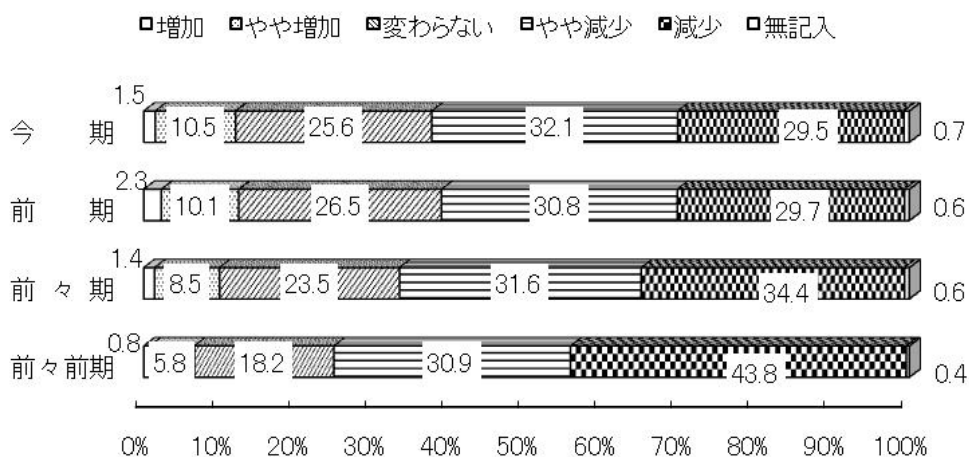
4. 利益状況 (図-7参照)

全体では、「増加・やや増加」が12.0% (前回12.4%)、「やや減少・減少」が61.6% (前回60.5%)で、D I値は△49.6 (前回△48.1) となり、1.5ポイントやや悪化となった。

業種別では、飲食業 (3.4ポイント)、交通運輸業 (12.5ポイント) で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に製造業では、△39.6(前回△34.3)と5.3ポイント悪化している。

地区別では、伊賀地区の△41.3 (前回△56.3) 15.0ポイント改善となったが、それ以外の地区では悪化している。

図-7 利益状況



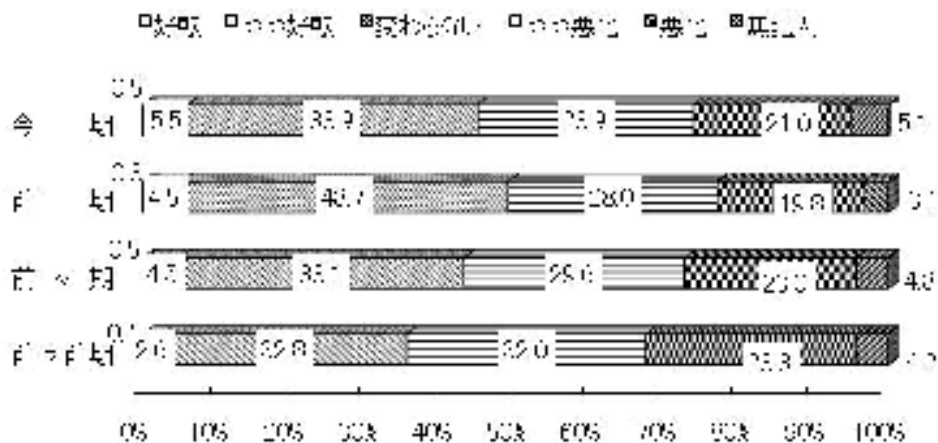
5. 販売条件 (図-8参照)

全体では「好転」、「やや好転」が6.0% (前回5.3%)、「やや悪化」、「悪化」は49.9% (前回47.8%)で、D I値は△43.9 (前回△42.5%) となり、1.4ポイント悪化となった。

業種別では、建設業 (1.7ポイント)、飲食業 (2.8ポイント) で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特にサービス業では、△46.5(前回△40.1)と6.4ポイント悪化している。

地区別では南勢地区の△49.3 (前回△52.0) 2.7ポイント改善となったが、それ以外の地区では悪化している。

図-8 販売条件



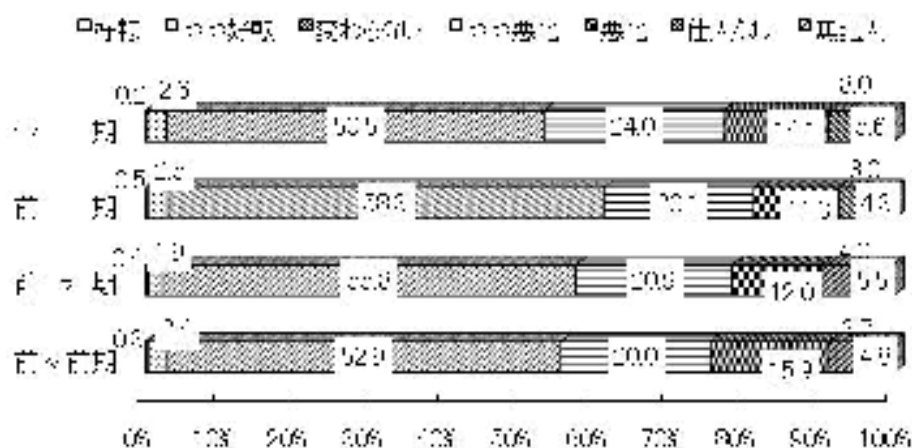
6. 仕入条件 (図-9 参照)

全体では「好転」、「やや好転」が 2.8% (前回 3.0%)、「やや悪化」、「悪化」は 38.1% (前回 31.4%) で、D I 値は△35.3% (前回△28.4%) となり、6.9ポイント悪化となった。

業種別では、交通運輸業 (1.1ポイント) で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に製造業では、△34.4(前回△26.3)と 8.1ポイント悪化している。

地区別では、すべての地区で悪化となったが、特に東紀州地区では△42.3 (前回△29.9) で 12.4ポイント悪化した。

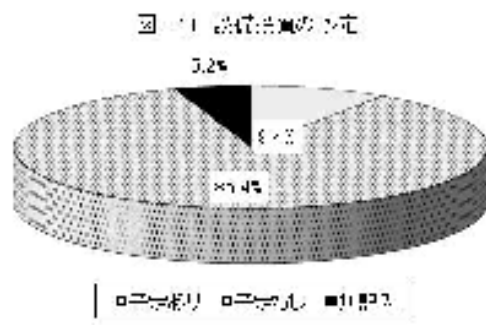
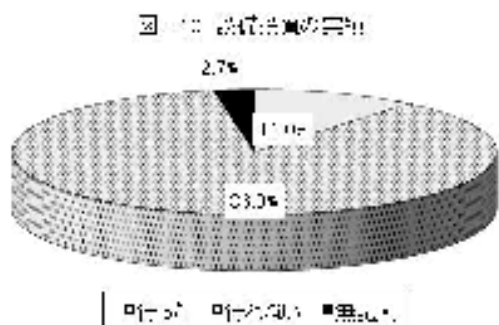
図-9 仕入条件



7. 設備投資 (図-10・11 参照)

全体では、設備投資を行った企業は 288 社、11.0% (前回 13.3%)、設備投資を予定している企業は 246 社、9.4% (前回 10.1%) とやや減少となった。

業種別では、交通運輸業が 30.0%と他の業種よりも多く設備投資を行った。小売業が 7.6%と他の業種よりも低い数値であった。また、地区別では北勢地区が実 11.4%と最も高く、予定では中勢地区が 12.7%と最も高くなっている。東紀州地区で実 9.3%、予定 5.6%と最も低い値となっている。



8. 資金繰り状況と今後の見通し

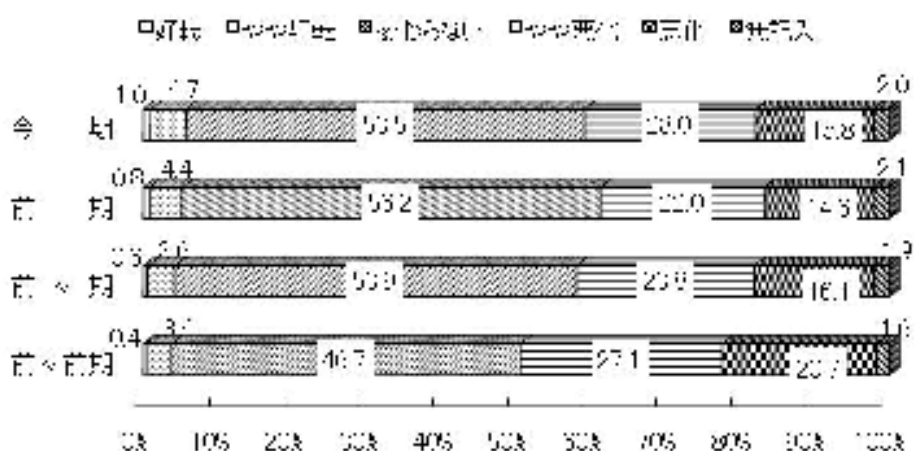
a) 現状 (図-12参照)

全体では「好転・やや好転」が5.7% (前回5.2%) に対し「悪化・やや悪化」は38.8% (前回36.6%) で、D I値は△33.1 (前回△31.4) となり1.7ポイントやや悪化となった。

業種別では、建設業 (2.4ポイント)、交通運輸業 (3.6ポイント) で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に飲食業では、△45.8(前回△39.0)と6.8ポイント悪化している。

地区別では伊賀地区の△23.4 (前回△29.9) と6.5ポイント改善となったが、それ以外の地区では悪化している。

図-12 資金繰りの現状

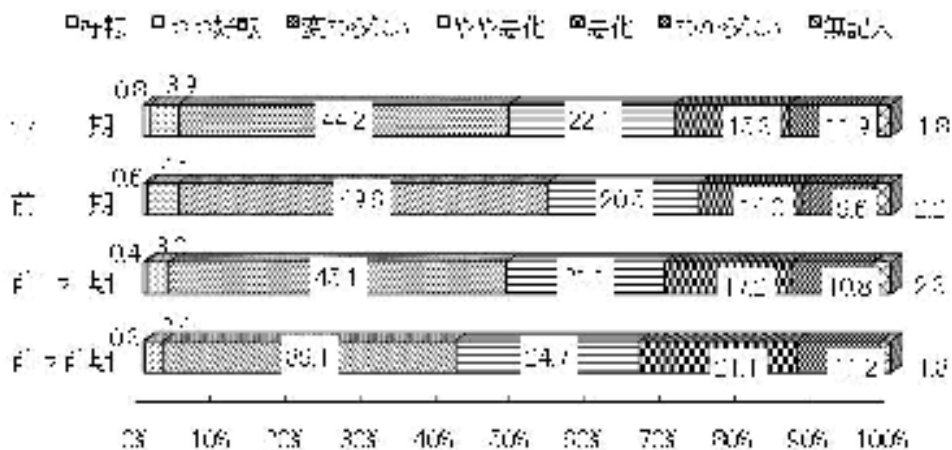


b) 見通し (図-13参照)

全体では、「好転・やや好転」が、4.7% (前回4.1%) に対し、「悪化・やや悪化」は37.4% (前回34.5%) で、D I値は△32.7 (前回△30.4) となり、2.3ポイントやや悪化となった。

業種別では、すべての業種で悪化している。特に交通運輸業が△40.0 (前回△19.3) で20.7ポイント悪化しました。また、地区別では北勢地区と伊賀地区を除いたすべての地区で悪化しました。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,616 社のうち、借入を実施した企業は、1,071 社、40.9%（前回 1,106 社、42.5%）であった。

b) 借入の難易度（図－14・15参照）

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 14.6%（前回 13.8%）、「難」は 18.4%（前回 21.1%）で、D I 値は△3.8（前回△7.3）となり、3.5 ポイント改善された。

業種別では、小売業と飲食業以外で改善され、また、地区別では南勢地区以外が改善された。

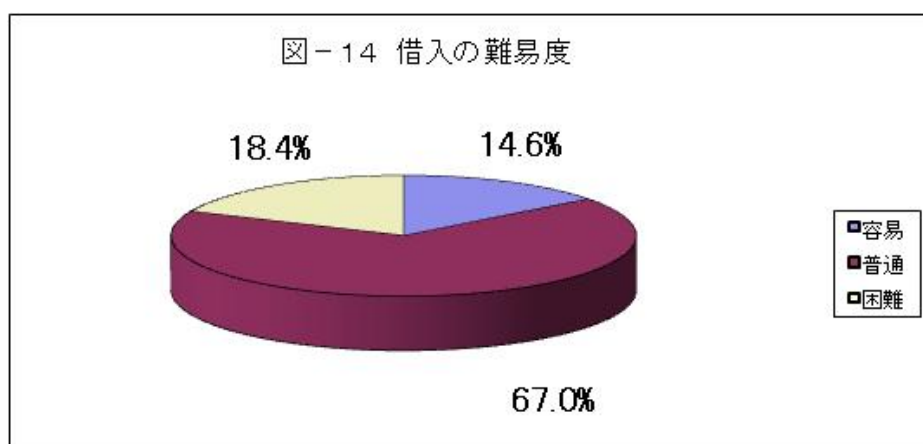
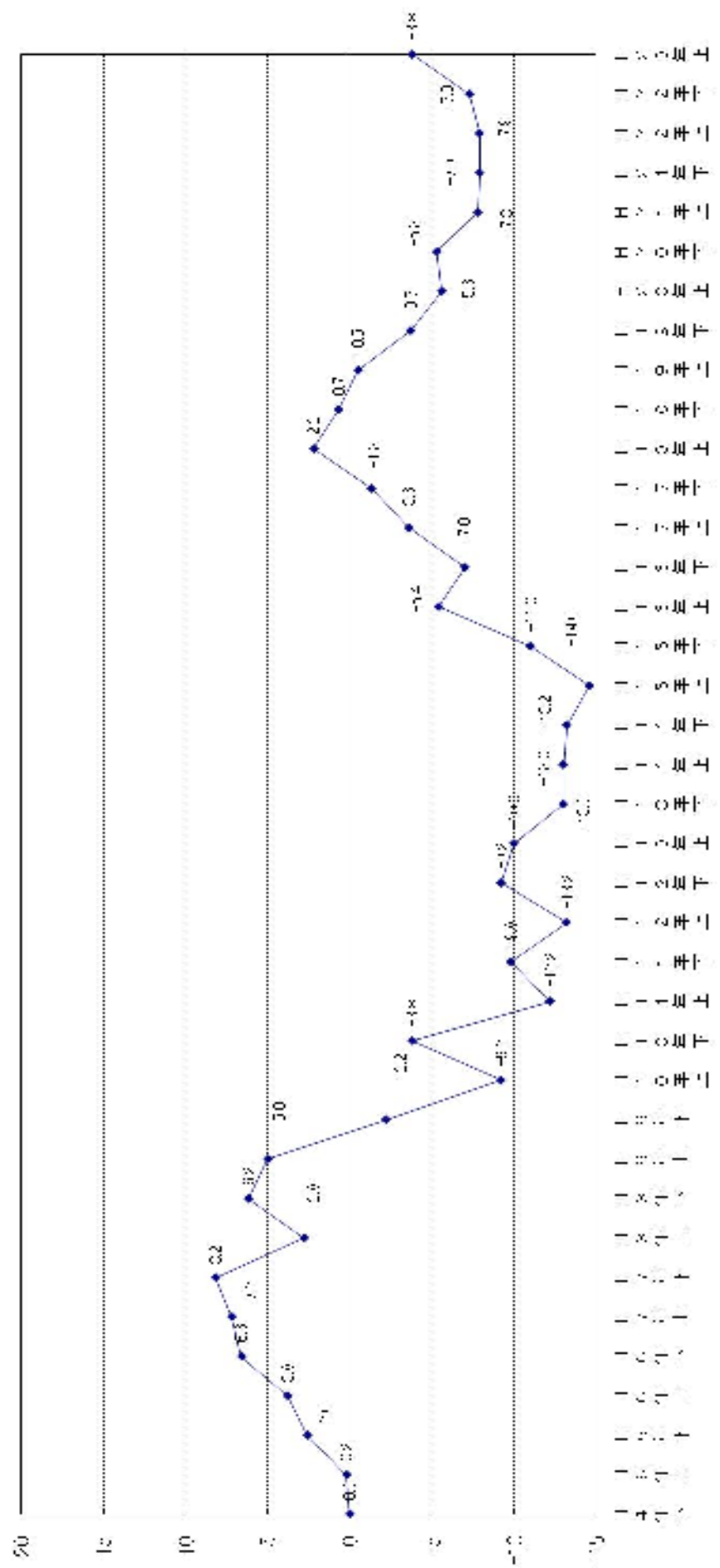


図-15 借入難易度D I値の推移

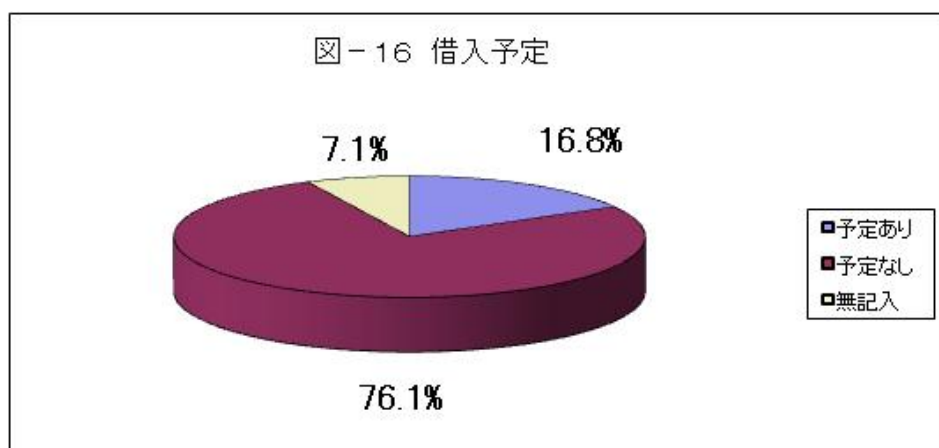


) 1 下期分までの値は I 値を 2 した数値で表示

10. 借入予定（図－16参照）

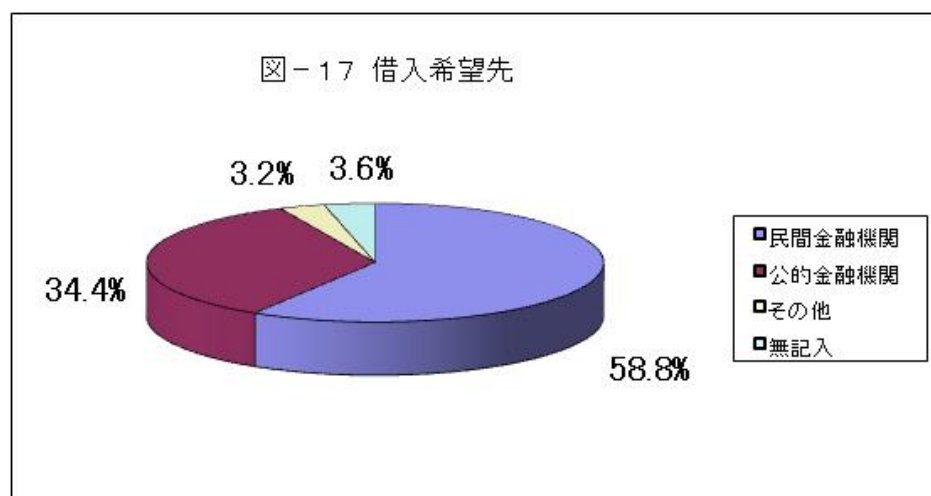
全体では、回答企業2,616社中、借入を予定している企業は439社（前回435社）、16.8%（前回16.7%）であった。

業種別で借入を予定しているのは、建設業で23.7%と最も高く、最も低かったのは小売業の10.8%であった。また地区別で借入を予定しているのは、伊賀地区が18.3%と最も高く、東紀州地区が13.5%と最も低かった。



11. 借入希望先（図－17参照）

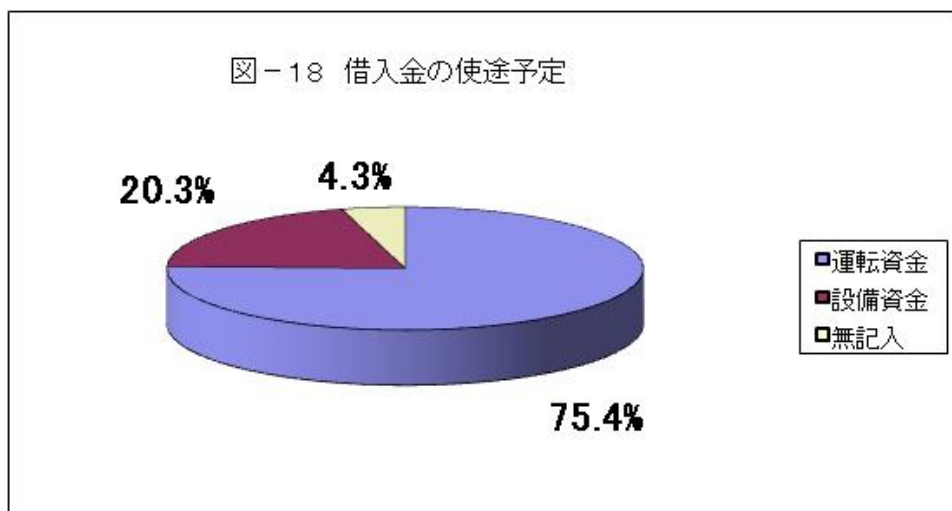
借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が58.8%（前回57.0%）に対し、「公的金融機関」は34.4%（前回34.3%）で、「民間金融機関」での借入希望が増加している。



12. 借入金の使途予定（図－18参照）

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が75.4%（前回76.3%）に対し、「設備資金」は20.3%（前回18.2%）となりました。

業種別では、「運転資金」で建設業が90.2%、一方、「設備資金」では飲食業が52.4%と最も高くなった。



13. 経営上の問題点（表－1参照）

全体では、「売上・ の 減少」62.3%（前回65.6%）、「 化」31.6%（前回33.8%）、「製品・商品単 の下 」18.1%（前回21.7%）の となっている。

業種別では、全ての業種で「売上・ の 減少」の回答が最も かった。業種別での2位の回答では「 化」が最も く、飲食業では「設備 の 小 化」や交通運輸業では「人件 以外の経 増加」があがっている。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・ の 減少 (64.1)	製品・商品単 の下 (27.8)	材料高及び不 (22.3)
	建 設 業	売上・ の 減少 (70.1)	化 (45.9)	材料高及び不 (20.0)
	卸 売 業	売上・ の 減少 (68.0)	化 (33.3)	製品・商品単 の下 (18.7)
	小 売 業	売上・ の 減少 (66.8)	化 (35.3)	設備 の 小 化 (18.2)
	飲 食 業	売上・ の 減少 (64.8)	設備 の 小 化 (32.4)	材料高及び不 (21.8)
	サービス業	売上・ の 減少 (50.2)	化 (32.4)	設備 の 小 化 (24.4)
	交通運輸業	売上・ の 減少 (58.0)	人件 以外の経 増加 (42.0)	化 (24.0)
	そ の 他	売上・ の 減少 (35.9)	化 (21.4)	設備 の 小 化 (17.2)
地 区 別	北 勢	売上・ の 減少 (61.0)	化 (35.2)	製品・商品単 の下 (18.6)
	中 勢	売上・ の 減少 (66.5)	化 (35.6)	製品・商品単 の下 (19.2)
	南 勢	売上・ の 減少 (60.6)	化 (23.5)	製品・商品単 の下 (19.3)
	伊 賀	売上・ の 減少 (62.1)	化 (30.4)	設備 の 小 化 (17.9)
	東 紀 州	売上・ の 減少 (63.7)	材料高及び不 (20.0)	設備 の 小 化 (15.3)
合		売上・ の 減少 (62.3)	化 (31.6)	製品・商品単 の下 (18.1)

県下商工会議所地域の景況

○桑名商工会議所地域

現 状

全体では、「いい・ややいい」との回答が13.9%、「わからない」が27.2%、「やや悪い・悪い」が58.6%、D I 値は△44.7（前回△58.6）で、前回に比べて13.9ポイント改善している。前回調査の景況見通しD I 値は△50.7であったことから、見通しよりもいい結果となった。平成21年下期より4期連続で改善しており、景況は緩やかに回復に向があるが、依然として数値は厳しい状況が続いている。

見 通 し

「いい・ややいい」との回答は11.0%、「やや悪い・悪い」との回答は51.6%、D I 値は△40.6となり、現状のD I 値と比較して4.1ポイント改善するとの見通しであり、現状よりも回復が見られる。

目立った変化等

経営上の問題点では、前回と同様、「売上・利益の減少」、「コスト増大」が上位をめぐり、「製品・商品単価の上昇」となっている。

これら上位の回答は前回調査と比較すると減少しており、代わりに「材料高及び不況」などの回答が増加している。

売上状況については、全体のD I 値は△31.4（前回△34.2）で、2.8ポイント改善している。しかし、前回調査では大幅に改善していた製造業が、今回調査では△25.5（前回△18.5）と悪化している。

利益状況については、全体のD I 値は△35.1（前回△38.9）で、3.8ポイント改善している。製造業は△34.0（前回△25.4）で売上状況と同じく悪化しているが、他の業種は改善した。

○四日市商工会議所地域

現 状

「いい・ややいい」が11.7%（前回5.8%）、「わからない」が23.7%（前回28.1%）、「やや悪い・悪い」が63.8%（前回66.0%）となり、現状D I 値は△52.1で前回値の△60.2より、8.1ポイントの改善を示す結果となった。

業種別に前回値と対比すると、製造業・建設業・サービス業で数値が改善する一方、卸売業・小売業では前回値を下回った。

見 通 し

「いい・ややいい」が9.5%、「わからない」が19.8%、「やや悪い・悪い」が57.1%となり、D I 値は△47.6（前回△53.7）との結果であった。この値と今期調査で

「経営状況の現状」におけるD I 値△52.1 とを比較すると、4.5 ポイントの改善を示す結果となった。

業種別では、業種によって依然 差があり、製造業・建設業ではD I 値は緩やかに上 する見通しだが、卸売業・小売業は悪化する見通しとなった。

目立った変化等

経営上の問題点では、「売上・ の 減少」(61.3%)、「 化」(35.9%)、「製品・商品単 の下 」(19.8%)の で上位を めた。また、「 材料高及び不 」を問題として えている企業が14.8%と、前回値から7.7ポイント増加している。

設備投資の実 では、「行わない」が今回86.1%(前回85.1%)と依然高く、今後の予定についても「予定なし」が84.4%(前回89.1%)と設備投資の意 は低い。

○鈴鹿商工会議所地区

現 状

対象1,086社 回答372社 回答率34.3%。「 い・やや い」と答えた企業が9.4と前年同期(2.6)より6.8増加し、「やや悪い・悪い」と答えた企業は67.4と前年同期(73.7)より6.3改善している。また、D I 値が△58.0と前年同期(△71.1)と13.1ポイント改善している。

現状について、前年同期に比 やや改善 向にある。

見 通 し

「 い・やや い」と答えた企業が7.6と前年同期(1.7)より5.9減少し、「やや悪い・悪い」と答えた企業は55.9と前年同期(61.3)より5.4改善している。また、D I 値が△48.3と前年同期(△59.6)と11.3ポイント改善している。

今後の見通しについて、改善 向にあるが、大幅に改善する見通しではない。

目立った変化等

経営上の問題点として、今期では「売上・ の 減少」63.0、「 化」36.5、「製品・商品単 の下 」18.3の で上位を めた。前年同期の調査では、1位は「売上・ の 減少」で74.9、2位は「 化」で40.4、3位が「製品・商品単 の下 」で20.5となっており、この3つが上位を めている。

年では、「売上・ の 減少」と「 化」が上位を めており、同業者との により 客の い合いや単 の下 などが、「売上・ の 減少」に がっていると推 される。

○亀山商工会議所地域

現 状

全体では、「 い・やや い」が8.4%(前年同期2.6%)、「やや悪い・悪い」が58.9%(前年同期65.0%)となり、D I 値は△50.5で、前年同期値△62.4より11.9ポイント好転しており、やや改善の しもある。

見 通 し

「い・ややい」が6.6%(前年同期0.0%)、「やや悪い・悪い」が58.8%(前年同期51.3%)となり、D I値は△52.3で、前年同期△51.3より1.0ポイント悪化しているものの、前期(△56.9%)と比べ、4.6ポイント好転しており、依然として厳しい状況が続くなか、やや改善のしもある。

目立った変化等

経営上 っている問題点としては、「売上・ の 減少」が最も く、続いて2位が「 化」、3位が「設備 の 小 化」となっている。

○津商工会議所地域

現 状

「い・ややい」が12.0%(前回7.3%：前年同期2.8%)、「やや悪い・悪い」が63.0%(前回55.1%：前年同期65.5%)、D I値が△51.0(前回△47.8：前年同期△62.7)と前年同期より11.7ポイントマイナス幅が減少する結果となった。

業種別では製造業・小売業で悪化 向が見られた。中でも製造業では前回から12.3ポイント悪化した。

見 通 し

「い・ややい」が15.0%(前回5.5%：前年同期3.2%)、「やや悪い・悪い」が57.0%(前回56.2%：前年同期66.2%)、D I値は△42.0(前回△50.7：前年同期△63.0)と前年より21.0ポイントマイナス幅が減少する見通しとなっている。業種別でもほ ばいの推移となっているが、製造業で19.1ポイントマイナス幅が減少する見通しが見られる。また、建設業・卸売業・小売業では ばいの数値を示している。

目立った変化等

経営上の問題点としては、「売上・ の 減少」が最も く64.5%となった。いで「 化」39.0%、「製品・商品単 の下 」20.5%となった。前回と比較すると 位の 化はないものの「売上・ の 減少」に集中し、8.2ポイント上 した。

業種別に見ると、どの業種も「売上・ の 減少」を最も っている問題として えている。

○松阪商工会議所地域

現 状

全体では「い・ややい」が7.3%(前回6.2%)、「やや悪い・悪い」が68.5%(前回63.3%)となり、D I値は△61.2(△57.1)で前回に比 4.1ポイント悪化している。

また、業種別に見ると製造業、建設業、小売業、飲食業が改善となったが、卸売業、交通運輸業で悪化、特にサービス業が45ポイントと大幅に悪化となった。

見 通 し

全体では「い・やや い」が7.6%（前回5.7%）、「やや悪い・悪い」が62.3（前回61.0%）、D I 値が△54.7（前回△55.3）で0.6ポイント改善の見通しとなっている。

業種別では、卸売業とサービス業が大幅な悪化を示したが、それ以外の業種では改善の見通しとなっている。

目立った変化等

経営上 っている問題点として、前回と同様「売上・ の 減少」が最も く、2位は「 化」、3位は「製品・商品単 の下 」という結果となった。

○伊勢商工会議所地域

現 状

全体では「い・やや い」が7.9%（前回5.8%）、「やや悪い・悪い」が60.9%（前回66.7%）、D I 値△53.0（前回△60.9）と前回に比 7.9ポイント改善している。

業種別では、建設業とサービス業で改善が見られ、建設業は41.0ポイントと大きく改善している。それ以外の業種ではやや悪化 向である。

見 通 し

全体では「い・やや い」が6.5%（前回4.8%）、「やや悪い・悪い」が55.3%（前回58.9%）、D I 値△48.8（前回△54.1）と前回より5.3ポイント好転している。

業種別では、建設業、製造業で改善が見られるが、それ以外では悪化で、サービス業、卸売業、小売業の となっている。

目立った変化等

経営上の問題点として、全体では前回に引き続き、「売上・ の 減少」が63.3%と最も く、いで「 化」28.4%、「材料高及び不 」17.7%の となっている。

業種別でも、全業種で「売上・ の 減少」が第1位となっている。その他で目 った項目として、「材料高及び不 」の割合が製造業、建設業、飲食業で前回に比 て高くなっている。

○鳥羽商工会議所地域

現 状

全体では「い」・「やや い」があわせて4.7%、「やや悪い」・「悪い」があわせて80.0%、D I 値△75.3（前期△62.4、前々期△76.1）と悪化しており、基 産業である観 業についても△91.7（前期56.5）と悪化が目 っ。

見 通 し

今後の見通しについては、「いい・ややいい」の回答は2.7%、「やや悪い・悪い」の回答については62.0%（前期58.8%）で前期よりも3.2%増加。D I値は△59.3（前期△57.5）で、前期より1.8ポイント悪化している。

目立った変化等

最 の売上状況ではD I値△70.0（前期△46.2）と23.8ポイント悪化しており、売上の見通しについてもD I値△58.0（前期△48.0）と10.0ポイント悪化する見通しとなった。利益状況についてもD I値△68.6（前期△56.3）とすべての業種で悪化している。経営上 っている問題では、「売上・ の 減少 設備 の 小 化 化」が前回と引き続き問題点の上位となっている。

○上野商工会議所地域

現 状

全体では、「いい・ややいい」が13.6%（前回4.9%）、「やや悪い・悪い」が66.2%（前回64.6%）、D I値が△52.6（前回△59.7）で7.1ポイントの改善となった。

業種別では、製造業・小売業・飲食業・交通運輸業が改善となったが、卸売業・サービス業が前回より大幅な悪化となった。

見 通 し

全体では、「いい・ややいい」が8.1%（前回6.1%）、「やや悪い・悪い」が52.7%（前回57.3%）で、D I値は△44.6（前回△51.2）となり6.6ポイントの改善の見通しとなった。

業種別では、製造業・小売業・飲食業・サービス業が改善の見通しとなったが、卸売業・建設業は悪化となり、特に卸売業は△75.0で前回より35.0ポイントの悪化となった。

目立った変化等

経営上 っている問題点としては、「売上・ の 減少」が73.0%と最も多く、2位は「 化」が28.4%、3位は「材料高及び不」が21.6%と前回に引き続き上位に上がり、「借入難」が10.8%（前回△3.7%）で、前回より問題としての割合を めつつある。

○名張商工会議所地域

現 状

全体では「いい・ややいい」が12.0%、「やや悪い・悪い」が55.4%で、D I値は△43.4（前回△60.3）となり、前回より16.9ポイント改善した。

見 通 し

全体では「いい・ややいい」が8.4%、「やや悪い・悪い」が57.8%で、D I値は△49.4（前回△52.9）となり、前回より3.5ポイント改善の見通しとなった。

目立った変化等

経営上 っている問題として「売上・ の 減少」が 57.2%で最も く、 い で「 化」が 31.3%で 2 位となり、1 位と 2 位については前回と同様の結果ですが、3 位には、前回の 5 位から「設備・ の 小 化」が、4 位に震災の影響か 「 材料高及び不 」が前回の 8 位から 上した。

○尾鷲商工会議所地域

現 状

回答 175 企業中、「 い・やや い」が 5.2%（前回 2.5%）に対し、「やや悪い・悪い」66.9%（前回 52.5%）で、現状 D I 値は△61.7 となり、前回（△50.0）と比較して 11.7 ポイント悪化した。

見 通 し

「 い・やや い」が 2.9%（前回 2.0%）に対し、「やや悪い・悪い」が 60.0%（前回 49.0%）で、D I 値は△57.1 で、前回調査時の見通し（△47.0）より 10.1 ポイント悪化しており、見通しは厳しい状況にある。

目立った変化等

最 の売上状況 D I 値△57.1（前回△39.5）で 17.6 ポイント、売上の見通しについて D I 値△48.0（前回△37.5）10.5 ポイント、ともに前回に比 大きく悪化 向となっている。

仕入条件について D I 値△42.3（前回△26.5）で 15.8 ポイント、前年同期と比 大きく悪化 向となっている。

経営上の問題点では、「売上・ の 減少」64.0%、「 材料高及び不 」22.3%、「 化」15.4%と上位を めた。

○熊野商工会議所地域

現 状

「 い・やや い」が 1.9%、「悪い・やや悪い」が 69.9 、D I 値が△68 となり 年の下期同様かなり悪い状況で推移している。

東日本大震災及び 事 の影響もあり、回復の しが見られない。

見 通 し

「 い・やや い」が 1.9%、「悪い・やや悪い」が 66.1 、D I 値が△64.2 となり 年の下期からは 少の改善が見られたが、今後の見通しも依然として るくない。

目立った変化等

大学工業高等 学 の名張市 の移転の影響か、経営上の問題点として 地 条件の悪化を げる事業所が増加した。

景況調査票

平成 23 年 7 月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

会議							コー

I. 企業の概要

1. 業種(主たるもの1つ)

^{10,11} 〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他						
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他						
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他				
〈飲食業〉	21.飲食店								
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他				
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他()						

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

¹²	1.0 ~ 5 人	2.6 ~ 20 人	3.21 ~ 50 人	4.51 ~ 100 人	5.101 人以上
---------------	-----------	------------	-------------	--------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について

¹³	1.良	い	2.やや良	い	3.変わらない	4.やや悪	い	5.悪	い
---------------	-----	---	-------	---	---------	-------	---	-----	---

4. 今後の見通しについてどう思いますか。

¹⁴	1.良	い	2.やや良	い	3.変わらない	4.やや悪	い	5.悪	い	6.わからない
---------------	-----	---	-------	---	---------	-------	---	-----	---	---------

5. 売上状況について…平成23年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

¹⁵	1.増	加	2.やや増	加	3.変わらない	4.やや減	少	5.減	少
---------------	-----	---	-------	---	---------	-------	---	-----	---

6. 売上の見通しについて…平成23年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

¹⁶	1.増	加	2.やや増	加	3.変わらない	4.やや減	少	5.減	少	6.わからない
---------------	-----	---	-------	---	---------	-------	---	-----	---	---------

7. 利益状況について…平成 23 年 1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

¹⁷	1.増	加	2.やや増	加	3.変わらない	4.やや減	少	5.減	少
---------------	-----	---	-------	---	---------	-------	---	-----	---

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成 23 年 1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

¹⁸	1.好	転	2.やや好	転	3.変わらない	4.やや悪	化	5.悪	化
---------------	-----	---	-------	---	---------	-------	---	-----	---

9.仕入条件(単価・決済方法)について…平成 23 年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

19	1.好 転	2.やや好 転	3.変わらない	4.やや悪 化	5.悪 化	6.仕入なし
----	-------	---------	---------	---------	-------	--------

10.設備投資について

20	23 年 1～6 月の実績		➔	21 23 年 7～12 月の予定	
	1.行 った	2.行わない		1.予 定あり	2.予 定なし

11.資金繰りの現状について…平成 23 年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

22	1.好 転	2.やや好 転	3.変わらない	4.やや悪 化	5.悪 化
----	-------	---------	---------	---------	-------

12.資金繰りの見通しについて…平成 23 年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

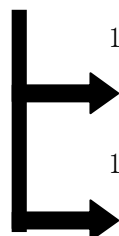
23	1.好 転	2.やや好 転	3.変わらない	4.やや悪 化	5.悪 化	6.わからない
----	-------	---------	---------	---------	-------	---------

13.借入の現状について…平成 23 年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

24	1.容 易	2.普 通	3.困 難
----	-------	-------	-------

14.借入予定はありますか…(平成 23 年7～12月)

25	1.予 定している	2.予 定していない
----	-----------	------------



14-1.借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

26	1.民間金融機関	2.公的金融機関	3.そ の 他
----	----------	----------	---------

14-2.資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

27	1.運 転 資 金	2.設 備 資 金
----	-----------	-----------

15.現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

28 ~ 33	1.売上・受注の停滞減少	6.設備・店舗の狭小老朽化	11.競争激化
	2.製品・商品単価の下落	7.売掛・債権回収の悪化	12.人材育成
	3.人手不足	8.人件費の増加	13.立地条件の悪化
	4.過剰人員	9.人件費以外の経費の増加	14.法的規制等(緩和を含む)
	5.借入難	10.原材料高及び不足	15.税務・経理問題

16.その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。